

2015年3月6日 第41号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kvodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

長崎 ランタンで賑やかな鉄橋での署名宣伝行動



2月18日、長崎ランタンフェスティバルのオブジェなどで賑やかな、繁華街入口（鉄橋）で、定例宣伝を行いました。4団体から12名が参加し、「憲法を守り暮らしにいかし、安倍政権の戦争する国づくりをやめさせましょう」と呼びかけました。

底冷えの寒さの中、わざわざポケットから手を出してビラを受け取る人も多く、準備したチラシ600枚は、1時間足らずでなくなりました。集团的自衛権行使容認反対の署名97筆、秘密保護法反対の署名4筆を集約しました。原爆や戦争を体験した人や、高校生のカップルも寒い中足をとめ、署名に応じてくれました。そして、たくさんの方が自分の思いを語ってくれました。**署名をし**

た市民の声★本当に戦争だけはイヤ！自分は被爆者。米粒ひとつ、水さえも飲めなかった・・・戦争だけはいかん。★42歳の時に、父親がジャワ島に行って帰らぬ人となった。戦争はいやだ。長いときが経った今でも悲しみで胸がいっぱいになり涙が込み上げてきます。★安倍さんは坊ちゃんだ。戦争経験がないし、自分が戦争に行くなんて思っていないのだろうね。安倍さんを変えないとダメだと思う。★安倍さんは冷酷で戦争オタク。アメリカと一緒に『イスラム国』と戦いたいなら安倍さんが一人でやればいい。

（憲法改悪阻止長崎県共同センターニュース No.14 より）

弁護士会のよびかけに8000人、幅広い人々が参加 「集团的自衛権にNO！ 2・21かながわ大集会」

2月21日（土）、横浜・山下公園で、「考えよう！ 集まろう！ 声を上げよう！ 集团的自衛権にNO！ 2・21かながわ大集会」が開催され、8000人が参加しました。この集会は、横浜弁護士会が主催し、日本弁護士連合会、関東弁護士連合会などが共催したもの。会場には、神奈川労連、連合神奈川など労働組合をはじめ、様々な市民団体や女性団体の旗やのぼりが並びました。

主催者を代表して、横浜弁護士会会長の小野毅さんが「集团的自衛権ノーの大きな声を上げていこう」とあいさつ。リレートークで、浜矩子さん（同志社大学大学院教授）は、「人間にとって大事なもの、それは目・耳・手。目は涙を流すために、耳は大事なことを聞き分けるために。手は差し伸べるために。しかし、安倍首相の手は奪い取るためにある。」と、きびしく安倍政権を批判しました。神奈川大学大学院教授の阿部浩己さん、東京新聞論説委員兼解説委員の半田滋さん、日弁連会長の村越進さんがトークしました。

政党からは、日本共産党の志位和夫委員長、社民党の福島瑞穂参院議員、民主党の近藤昭一衆院議員が発言しました。

「集团的自衛権NO！」「平和がいちばん」と書かれたプラカードをいっせいにかがげてシュプレヒコールを繰り返すと、会場は一つになりました。

集会の後は、観光客でにぎわう横浜の町を、2コースに分かれてパレード。「戦争、させない」「平和がいちばん」とコールするパレードに、沿道の皆さんは、手を振ったり、拍手をしたり、明るくこたえてくれました。



千葉 県弁護士会が市民集会開催

千葉県弁護士会は2月7日、県弁護士会館で「平和憲法を守り、発展させるため語り合おう憲法を！」市民集会を開催。上智大学国際教養学部の中野晃一教授を講師に招き、170人が参加しました。主催者を代表して千葉県弁護士会の大塚功副会長は、「昨今『強い日本を取り戻す』と耳にするが、国同士がたたかえば傷つくのは国民。国民を守るために堂々と戦場から立ち去ることが強さであり、70年前に選んだ道でないかと思う（略）」とあいさつしました。中野教授は「集団的自衛権を国民は指示したのか？」をテーマに、選挙制度と立憲主義を軸に講演。（略）安倍政権について、「何がやりたいかといえば、結局は集団的自衛権。それは国防ではない。（略）グローバルな寡頭支配である。日本国民の命を守ろうなんて少しも思っていない」と批判しました。（ちば労連ニュース 第279号より）

大阪 2月「9の日」宣伝

「自衛隊送るより憲法守れってことやね」と青年署名



スポットでは特に「イスラム国」問題を訴え、反応がよく、「テロは怖い、戦争にまきこまれないように」と自分からすすんで署名された女性。たむろしていた青年たちもスポットを聞いて「テロのことがよくわかった。自衛隊送るより憲法守れってことやね」と手袋をとって署名してくれました。国民の関心が高まっている今こそ宣伝を強めていきましょう。 **署名ハガキも返信続々**★戦争する国

づくりの法案などありません。国民は自分が戦争に加担することなど望んでいません。税金は自分たち国民に使ってほしいものです。★どんなに正義をかかげても戦争は悪であり、百害あって一利なし。賢く平和を貫くべきです。（大阪憲法しんぶん速報版 310号より）

新潟 5.23 県民集いの成功を！地域団体代表者会議

2月21日（土）、「守ろう！立憲主義と憲法9条—5.23新潟県民のつどい」の成功を目指して、憲法を守る新潟県共同センターの地域・団体代表者会議が開催されました。会議には全県から21団体・組織、34人が参加しました。7団体から発言がありました。（以下、発言の一部を掲載します）

★一点共闘は簡単ではない。だが、力を合わせる力量、考える力を確実につけてきている。戦争体験を聞く会やDVDを見る会、手作りカフェ、大タテカンなど創意を生かした多様なとりくみが豊かに生まれている。我々が多数派を握れるかどうか勝負だ。二度と改憲を持ち出せないように闘うことが大切だ。美術の会の9条準備会は100人を超える人が賛同した。教育や宗教者の9条の会も再建したい。9条の会と共同センターが両輪で闘うことがいま本当に求められている。（県9条の会／藤原さん）

★昨年2月6日、長岡の会を12団体で結成した。昨年3月29日の憲法守る新潟県民のつどいには、長岡から大型バス1台で参加している。5月から毎月最終金曜日にアオーレ前で、ハンドマイク、横断幕、ビラ、署名行動続けている。憲法守る長岡地域共同センターの呼びかけも決まった。12団体からもっとひろげようと連合組合にも呼びかけにまわる。今年の5.23も頑張る。秋には、一日共闘「憲法を守る長岡のつどい」をひらくため、リリックホールを11月29日（日）で予約した。（中越地区労連／小林さん）

（新潟県共同センター 輝け憲法！FAXニュース第34号より）

学習パンフ～「大切な人を戦争に行かせない 憲法がいきる「平和な日本」を～

完成！・販売スタート！憲法共同センターが総力を挙げて作成した「学習パンフ」が完成しました。安倍政権が推し進める「戦争準備法」がとつてもわかりやすく学べます。カラー、A5、8ページ仕立てで、1部50円（送料別）です。よろしくお願ひします。＊憲法共同センターHPで見本（2～3ページ部分）が見られます。



大切な人を戦争に行かせない
憲法がいきる「平和な日本」を